

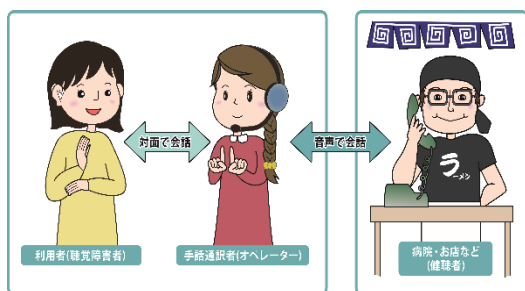
6月とコロナと電話リレー...

6月とコロナ

毎月、このページで広島県聴覚障害者センターの行事報告を行っています。しかし、6月はコロナ禍でセンターは休所状態が続きました。センターを利用される皆さんも、コロナで生活が「自粛」になり大変窮屈な思いをされたことと思います。6月21日より、センターは、広島県の方針を守って事業を再開しました。皆さん、また宜しくセンター事業に参加され、ご支援と協力をください。



聴覚障害者のための「電話リレーサービス」が広がります





聴覚障害者のバリアは「電話」です。電話社会の中で電話が使えないと言うことは、職業生活では聞こえる人と比較して大変不利になることです。こうした電話が出来ないという状況が変化しようとしています。広島県聴覚障害者センターでは広島県電話リレーサービス事業を行っています。2020年度の利用者が911件でした。2019年度は579件、2018年度180件。利用者が増加の一途をたどっています。

広島県聴覚障害者センターの電話リレーサービスは、火曜～日曜の9:00～17:00で行っています。無料ですが、要求事項や金銭関係事項等、受けられない場合があります。

「電話リレーサービス」の新しい法律

総務省で「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」が2020年6月5日に成立しています。そして、この法律の施行が2020年12月。この法律関係で「日本財団」が行う電話リレーサービスは、7月1日より開始されています。内容は ① 24時間毎日対応 ② 緊急通報(110番 118番 119番) ③ 通話の相手と双方発信可能となります。これは、日本財団電話リレーサービスへ登録が必要です。有料でプランがいくつかあります。日本財団電話リレーサービスへお問い合わせください。(大西)



<p>私は耳が聞こえません</p> <p>電話リレーサービス</p> <p>遠隔手話通訳を</p> <p>利用します</p> 	 <p>← 聴覚障害者センター 遠隔手話通訳 Skype QRコード</p> <p>コロナのPCR検査・入院・ワクチン接種などは、遠隔手話通訳が利用できます。スマホなどでこのQRコードを読み取り、申し込んでください。</p> <p>火～日 9時～17時</p> <p>※月曜・祝日は前日までに予約</p>
--	---